

授業科目 成人言語障害学Ⅰ

【担当教員名】 渡辺 真澄、栗崎 由貴子		対象学年	2	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 成人脳損傷者のリハビリテーションにおけるチームアプローチに専門職として参加するため、成人に生じる言語・コミュニケーション障害（失語および右半球損傷・認知症・頭部外傷などによるコミュニケーション障害）の言語症状の特徴や鑑別の方法を理解し、他の専門職との連携のあり方について認識を深める。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
<ol style="list-style-type: none"> 失語症学の生い立ちについて説明し、その発展の概略について述べることができる 失語の発生のメカニズムについて、原因疾患と病巣を中心に整理して述べるができる 失語の言語症状を説明するとともに、他の症状と鑑別することができる 失語の分類名を列挙しその特徴を述べるとともに、典型例については他から鑑別して同定できる 失語と鑑別すべきコミュニケーション障害を列挙し、主な鑑別点を説明できる 失語のリハビリテーションの流れについて、チームアプローチの観点から説明できる 失語の予後についてその概略を説明できる 					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	失語症学の歴史 / 定義			1	講義、VTR、担当：渡辺 真澄
2	症状 1			2	講義、VTR、担当：渡辺 真澄
3	症状 2			3, 5	講義、担当：渡辺 真澄
4	症状 3			6	講義、担当：渡辺 真澄
5	病巣			6	講義、担当：栗崎 由貴子
6	失語症候群 1			2	講義、担当：栗崎 由貴子
7	失語症候群 2			3	講義、担当：栗崎 由貴子
8	認知神経心理学モデル			4	講義、VTR、担当：渡辺 真澄
9	評価の流れ			4	講義、VTR、担当：渡辺 真澄
10	評価の実際 - 1			5	講義、VTR、担当：渡辺 真澄
11	掘り下げ検査 - 1			3	講義、担当：渡辺 真澄
12	掘り下げ検査 - 2			3	講義、担当：渡辺 真澄
13	掘り下げ検査 - 3			3	講義、VTR、担当：渡辺 真澄
14	総合的失語症検査 - 1			1-7	講義、担当：渡辺 真澄
15	総合的失語症検査 - 2			1-7	講義、担当：栗崎 由貴子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		失語症	石川祐治 編著	建帛社	2000・2,400円
		言語治療マニュアル	伊藤元信・笹沼澄子 編集	医歯薬出版	2010・6,720円
		失語症言語治療の基礎	紺野加奈江	診断と治療社	2001・3,500円
参考書		よくわかる失語症と高次脳機能障害	鹿島晴雄・種村純 編集	永井書店	2003・9,000円
		失語症のすべてがわかる本	加藤正弘・小嶋知幸 監修	講談社	2006・1,200円
その他の資料					
【評価方法】 出席状況と小テスト、提出物、期末試験により評価する。			【履修上の留意点】		